

<特集補遺「受動表現」>

## タイ語における受動表現 Passive forms in Thai

松岡 尚  
Nao Matsuoka

東京外国語大学大学院総合国際学研究科  
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

**要旨:** 本稿は特集「受動表現」(『語学研究所論集』第14号, 2009, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は12個のアンケート項目に対するタイ語データを与えることである。

**Abstract:** This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘passive forms’ (*Journal of the Institute of Language Research* 14, 2009, Tokyo University of Foreign Language). The purpose of this paper is to offer the Thai data for the question of 12 phrases.

**キーワード:** タイ語、受動表現、被害

**Keywords:** Thai, Passive Forms, Adversity

### 1. はじめに

本稿ではタイ語の受動表現についてのデータを記述する。インフォーマントはインナッタ・タナッチ氏(1999年バンコク生まれ)で、母語は中部タイ方言である。また、日本語学習歴は6年間であり、日本には2017年より在住している。

なお、音韻表記はウィッタヤーパンヤーノン(2016)に依拠する。また、日本語文のアタマにある番号は、アンケート項目の番号(1, 2, 3…)である。異なる日本語文に対するタイ語文は通し番号1), 2), 3)…とする。一方で、一つの日本語文に対して複数のタイ語文がある場合は1), 1’), 1’’)…とする。

### 2. 言語データ

1 AはBに叩かれた。

1) A doon B tòp/tèʔ/sakit/tii/tòy/thúp  
PASS slap/touch/poke/hit/box/smash

1’) A thùuk B tòp/tèʔ/sakit/tii/tòy/thúp  
PASS slap/touch/poke/hit/box/smash



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

タイ語の典型的な受動表現としては、/doon/と/thùuk/が挙げられ、従来は逆境や困難など被害性のある場合に用いられるとされてきた。しかし最近では、/thùuk/の持つ被害性のニュアンスは薄らいでいるとのことである。一方、/doon/は依然として被害性のあるニュアンスでのみ用いられる<sup>1</sup>。

また、日本語の「叩く」という語は、タイ語では多様な訳が想定される。例えば/tòp/は「平手で打つ」という意味で、攻撃的なニュアンスを持つが、/tèʔ/は「(肩などを) 軽く叩く」という意味で、特に攻撃的なニュアンスはない<sup>2</sup>。このニュアンスの違いは/doon/と/thùuk/の使い分けに影響を及ぼしうる。

2 A は B に足を踏まれた。

2) A doon B yiap tháw  
PASS step.on foot

3 A は B に財布を盗まれた。

3) A doon B khamooy krapăw sataaj  
PASS steal bag money

4 昨日の夜、私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。

4) múakhuuum chán doon dèk thaarók rónghây sày  
last.night 1SG PASS child infant cry put.in  
  
thamhây noon mây lăp ləey  
CAUS lie.down NEG sleep ADV.completely

/doon~sày/という表現は、「～される」という被害性のある意味を持つ (/sày/はここでは「入る、入れる」という意味では解釈されない)。ただしこの表現は全ての動詞で使えるわけではなく、本来「動詞+ /sày/」という表現を使用する場合は、動詞が物理的な移動を意味するものでなければならない (/khwâaj/ +B+ /sày/ +A 「A に B を投げる」など)。

なお最近では、口語的用法ではあるが、4)のように物理的移動を伴わない一部の動詞 (/rónghây/ 「泣く」など) でも使用可能となっている。

5 新しいビルが (A によって) 建てられた。

5) tùk mày thùuk sâaj (dooy A)  
building new PASS build (PREP.by )

/sâaj/「建てる」という動詞は、その製造物 (ビルなど) を目的語に取るのが一般的である (/A sâaj tùk mày/)。一方でその目的語を主語に置きながら、受動態マーカーの/thùuk/を用いずに受動的な表現をすることができる (/tùk mày sâaj dooy.../) <sup>3</sup>。しかし、インフォーマントによれば5)のように/thùuk/を用いた表現も可能である (/A sâaj tùk mày/、/tùk mày sâaj dooy.../といった表現に比べると使用頻度は低い)。

<sup>1</sup> 詳細は Iwasaki and Ingkaphirom(2005)を参照されたい。

<sup>2</sup> 訳は松山 (2013) を参照。

<sup>3</sup> 詳細は Iwasaki and Ingkaphirom(2005)を参照されたい。

- 6 カナダではフランス語が話されている。  
6) phaasǎa farǎnsǎet thùuk cháy nay kheenaadaa  
language France PASS use PREP.in Canada

6)のように/thùuk/を用いた表現は文脈によって使用可能だが、/thii kheenaadaa cháy phaasǎa farǎnsǎet/ (直訳すると「カナダではフランス語を用いる」) のほうがより一般的な表現である。

- 7 財布が (A に) 盗まれた。  
7) krapǎw sataaŋ doon (A) khamooy pay  
bag money PASS steal go
- 8 壁に絵が掛けられている。  
8) phâap thùuk khwǎen wáy bon phanǎŋ  
picture PASS hang keep PREP.on wall
- 9 A は B に / から愛されている。  
9) A dǎyráp khwaam rák càak B  
receive NMLZ love PREP.from
- 9') B rák A  
love

「愛される」「褒められる」など、受動文の主語にとって望ましい影響がある動詞の場合、/doon/はもちろんのこと、/thùuk/の形式も用いることができない。代わりに/dǎyráp/「受け取る」という形式を名詞化マーカー/khwaam/を伴った動詞（「愛する」など）に先行させるか、能動文に直すかのいずれかの表現をする必要がある<sup>4</sup>。

- 10 A は B に / から「...」と言われた。  
10) A thùuk B phûut wǎa ...  
PASS speak COMP
- 10a A さんは B さんに呼ばれて、今 B さんの部屋に行っています。  
11) khun A thùuk khun B ríak  
HON<sup>5</sup> PASS HON call
- lé? kamlaŋ pay hôŋ khun B tǔnníi  
CONJ.and PROG go room HON now

<sup>4</sup> 詳細は Iwasaki and Ingkaphirom(2005)を参照されたい。

<sup>5</sup> 本稿では honorific 「敬称」として扱う。

10b	BさんがAさんを選んで、Aさんは今Bさんの部屋に行っています。								
12)	khun	B	riak	khun	A				
	HON		call	HON					
	lɛʔ	khun	A	kamlaŋ	pay	hɔŋ	khun	B	tɔɔnnii
	CONJ.and	HON		PROG	go	room	HON		now

### 3. おわりに

以上が今回収集した、タイ語の受動表現のデータである。

#### グロス略号一覧

1	一人称	NEG	否定
2	二人称	NMLZ	名詞化
3	三人称	PASS	受身
ADV	副詞	POSS	所有
ADV LZ	副詞化	POT	可能法
CAUS	使役	PRF	完了
CLF	類別詞	PREP	前置詞
COMP	補文マーカー	PROG	進行
CONJ	接続詞	PTCL	小辞
COP	コピュラ	Q	疑問小辞
DEM	指示詞	REL	関係詞
F	女性	SG	単数
HON	敬称		

#### 参考文献

Iwasaki and Ingkaphirom. 2005. "A Reference Grammar of Thai", *Cambridge University Press*, pp.167-168.

ウィッタヤーパンヤーノン,スニサー. 2016. 『表現を身につける初級タイ語』, 三修社, p.101.

松山 納. 2013. 『タイ日・日タイ 簡約タイ語辞典 (合本)』, 大学書林.

執筆者連絡先 : one.thread.19@gmail.com

原稿受理 : 2019年12月20日